

金蘭千里中学校・高等学校 御中
中学校3年生の生徒・保護者の皆様

金蘭千里中学校様自然研修における貸切バス運行トラブルについて（お詫び・ご報告）

謹啓

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度は、弊社が受注型企画旅行として受託した貴校の自然研修旅行の貸切バスの旅程中に下記のトラブルを生じさせ、貴校ならびに生徒・保護者の皆様に多大なるご心配をお掛け致しましたこと、深くお詫び申し上げます。大変申し訳ございません。
ここに、発生した事象の概要・経緯をご説明し、安全安心な旅行サービスの提供に向けた今後の再発防止策をご報告申し上げます。

謹白

記

1. 発生事象の概要

- ・対象行事 : 金蘭千里中学校／2026年度北陸信州自然研修
- ・契約形態 : 受注型企画旅行
- ・ご旅行期間 : 2026年10月6日（火）～10月10日（土）
- ・ご参加人数 : 生徒203名 先生11名 看護師1名 カメラマン1名 添乗員3名
- ・運行バス会社 : 北鉄白山バス株式会社 7台 該当車両 4号車4組 生徒30名 先生2名がご乗車
- ・発生日時 : 2026年10月7日（水）09:27頃 高速道路ランプウェイでの約50メートルの後退
2026年10月8日（木）17:41頃 一般道における高さ制限バーへの接触事故
- ・乗務員・概要・発生原因の詳細につきましては、別紙バス会社の報告書に記載

2. 発生の経緯

- ・10月7日（水）
9:27頃事故発生。当該車両4号車の乗務員は松本インターチェンジにて侵入方面分岐時に経路に関して混乱した為、誤って東京方面へ約50メートル侵入。わずかな距離であったため問題はないと誤った認識を持っしまい、乗務員の判断で約50メートルを後退し、本来の経路へ復帰しました。該当車両には弊社チーフ・サブ添乗員共にバスへ同乗しておらず、事故の詳細をその場で現認できませんでした。目的地へ到着後、弊社チーフ添乗員は当該乗務員より走行予定経路の間違いの事後報告を受けましたが、旅程管理にも大きな支障がなかったこと、走行予定経路の間違いの報告のみで高速道路ランプウェイでの約50メートルの後退事案の把握に至らなかったことから、事業部への報告は行いませんでした。
- ・10月8日（木）
17:41頃事故発生。当該車両4号車の乗務員は一般道にて経路を誤認し、予定していなかった経路での走行となった為、高さ制限バーの手前に設置されている注意喚起用の枠にバス車両天井部分を擦ってしまいました。該当車両に同乗していた弊社チーフ添乗員より在阪の貴校営業担当者へバス車両天井部分の接触事故報告がありました。当日は、4号車先頭での走行であった為この4号車のみが接触し、他の車両に接触はありませんでした。接触痕が軽微な傷であり旅程の運行に支障がなかったこと、乗客の皆様にお怪我等は発生しなかったことから、在阪の営業担当者からも事業部への報告は行いませんでした。

3. 弊社と貸切バス事業者における問題点

- （1）貸切バス事業者による事故認識後、弊社への報告遅延
- ・弊社への事業者からの正式報告は10月13日13時頃となり、発生日から6日経過をしていました。
- （2）弊社添乗員・営業担当者におけるトラブル発生時の報告判断の誤り
- ・発生事象は2日間とも同一車両・同一乗務員の運行上の注意不足による事故であることを踏まえると、このレベルの事故の間にインシデントと認識し、次の安全対策を講じるべきでした。しかし、弊社添乗員と営業担当者は旅程への直接的な影響がないことから、取扱管理者や事業部へ適切な報告を怠り、実施旅行社としてトラブルの発生の認識が遅延しました。これにより、旅程中に運転者及び車両の交代の手配等、更なる安全確保への対応を実施する機会を逃してしまいました。

4. 再発防止策と今後のご対応について

- ・旅程中のトラブル発生時には、現場での正確な事象把握と発生事象に応じて取扱管理者へ速やかに報告することを弊社添乗員、及び関係社員へ今回の事象を共有し指導いたします。また、此度のような事象においては、必要に応じて運転者と車両の交代など安全な旅程の実施へ向けた必要な対応を行います。
- ・旅程中のトラブル発生時には、貴校の自然研修統括の先生方に速やかにご報告します。
- ・次年度の貴校における同方面での旅行実施においては、当該バス会社を手配せず、他の弊社契約貸切バス事業者の中から、公益社団法人日本バス協会「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の評価も参考に選定いたします。
- ・此度の事象を弊社内、及び関係貸切バス事業者とも共有し、トラブル発生時における適切な初動対応を実施することを指導します。